ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

令和１（2019）年
５月 11 日発行
第６号
文責（校長）片山　隆

夢のふくらむ学校

LI 校

１・４・６年生の授業参観を行いました。入学・進級して初めての参観日とあって、大勢の保護者の皆さんに参観していただきました。

子どもたちはもちろん、教師も張り切って授業に臨みました。写真は初等部６年生の授業の様子です。6 年生になり 2 クラスから 1 クラスとなりましたが、その分クラスの人数は増えて、大きい教室を使用しています。算数の授業では、三角形や四角形の面積の求め方を確認していました。教師の問いかけに、子どもたちは競って手を挙げていました。積極的な姿勢が頼もしいですね。

補習校では、デジタル教科書を使用しているので、黒板に教師がいろいろな形を黒板に書いたり消したりする手間がいらず、スマートボードに指で触れるだけで画面が切り替わるので、効率的に授業を進めることができます。デジタル教科書は、授業日数が限られた補習校にふさわしいと思います。

授業日には、担任は、あらかじめ補佐が各教室に運んでおいた補習校所有のパソコンをスマートボードにつなぎ、プロジェクターの映像を確認します。毎回 1～2 台の不具合が出るので、その都度補佐が走って行って調整をします。補習校は、週１回現地校の施設を使用させていただいているので、接続一つにも神経を使います。このようにして、一日の授業が始まります。



W校

４月２７日に上智大学学長の曄道佳明様が来校され、中高等部の生徒たちに講話がありました。

「日本を外側から見ている君たちの見方や考え方が、これからの世界をリードしていく日本人の資質や能力として発揮されることを期待します。」という言葉に、補習校で学んでいる価値を改めて教えていただいた気がしました。

また、日本の大学とアメリカをはじめ海外の大学との接続や、現地からの日本の大学への進学制度やそのメリットの紹介、自分たちが将来希望する分野の進学の仕方など、具体的で分かりやすい説明に、生徒たちは真剣なまなざしで聞いていました。

後半は、事務関係の方から保護者に向けての説明会がありました。多くの方々が興味深く説明を聞かれ、終了後も別室に移り、質問をされる長蛇の列ができていました。

生徒にとっても保護者にとっても進路は気になるところです。学長様からの話にもありましたが、「将来自分はどんなことがしたいのか、どんな仕事に就きたいのか、はっきりとビジョンをもって進学を考えてほしい。」という言葉が耳に残りました。

本日も、海外子女教育財団主催の学校説明会が開かれます。また、２５日も大学説明会があります。将来について考えるきっかけとなるような機会になることを期待しています。

本日配付の文書でもお知らせしましたが、「第１回子ども作文コンクール」への参加についてご理解とご協力をお願いいたします。日本語での数少ない発表の機会です。ぜひご活用ください。



緊急電話連絡網のテスト送信を行いました。

去る９日、緊急電話連絡システム「Call-Em-All」及びテキストによるテスト送信を行ったところです。この連絡網を使って、冬期間の天候状況等による授業時間の変更や休校等について、金曜日午後 4 時以降、または土曜日朝 5 時 30 分以降に連絡をいたします。今回のテスト送信で不都合や電話番号の変更等があった場合は、W 校は事務所までご連絡ください。LI 校は保護者会に直接ご連絡ください。（登録された電話には 914-636-3770 と表示されます。補習校からと分かるようにしておいてください。）

なお、この緊急電話連絡があった場合は、「ハロー」又は「もしもし」など必ず音声で返答をしてください。返答がないと、伝達内容が送信されませんのでよろしくお願いいたします。